

# 令和7年度 [ 1 ]年[ 美術 ]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。		
観点別 目 標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む姿
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4月	○オリエンテーション ・美術って何だろう ・美術で学ぶこと	美術を学習する意欲を育てる。これからの学習内容や目的を理解する。 ・美術の学習目的を考える。 ・授業の取り組み方について理解を深める。
	5月	○デザインの基礎 ・レタリングの基礎 ・平塗り	生活とデザインの関係を考える。デザインの基礎技法を身に付ける。 ・レタリング、平塗り等の基礎的技法を身につける。 ・身のまわりに使えるレタリングと模様デザインのデザインを考える。
	6月	・色の三要素	生活にいかすデザインを楽しみ、さらに作品を鑑賞しデザインの効果を考える。
	7月	○三重で楽しむ美術 ・アートカード作品鑑賞	鑑賞活動への関心を高める。自分の考えを言葉で伝える力をつける。 ・三重県美術館や美術館の取り組みについて知る。
二 学 期	9月	○見つめ、感じ取り、描く。 ・体育館シューズのスケッチと背景の着色	・身近なものがもつ美しさやよさに関心をもち、身近なものを見つめ、感じ取った特徴や、ものに対する自分の思いなどをもとに主題を生み出す。 ・主題をもとに、形や色彩、用具の使い方などの構想を練る。 ・構図や色などを工夫して制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
	10月		
	11月	○色や光の特徴を知ろう ・三原色、補色 ・色の感情	生活と色の関係を考える。色の特徴を知り、表現や鑑賞に活かす。 ・作品や生活に用いられる色彩の良さや美しさを味わう。 ・色の性質や効果を学び、作品にいかす。 ・お互いの作品を鑑賞し、その良さや工夫を見つける。
	12月	○風神雷神図屏風 ・作品鑑賞	鑑賞活動への関心を高める。自分の考えを言葉で伝える力をつける。 ・今日の和風デザインへとつながる琳派の作品を鑑賞し、そのよさを味わう。
三 学 期	1月	○自分のマークのデザイン	・どんな自分らしさをマークとして表現するのか、主題を明確にし、アイデアを練る。 ・これまでの学習を活かし、主題を色や形で表現し、平塗りで仕上げる。
	2月	○美術のはじまり ・作品鑑賞	鑑賞活動への関心を高める。自分の考えを言葉で伝える力をつける。 ・世界各地の美術のはじまりについて古代の人々の思いに触れながら、様々な作品を知る。そして、それぞれの作品の良さや美しさ、違いや共通点などを感じ取る。
	3月		・作品を模写することで、さらに良さを味わう。

評価の方法と場面	知識・技能	授業の様子、実習課題、作品、ワークシート、筆記テスト、実技テスト
	思考・判断・表現	授業の様子、作品、アイデアスケッチ、ワークシート、実技テスト
	主体的に学習に取り組む姿	授業の様子、振り返りシート

# 令和7年度 [ 2 ]年[ 美術 ]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。		
観点別 目 標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む姿
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4月	○オリエンテーション	美術を学習する意欲を育て、これからの学習内容や目的を理解する。 ・美術の学習目的を考える。 ・授業の取り組み方について理解を深める。
	5月	○季節感のある暮らしを楽しむ	日本の受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。
	6月	・日本の伝統美 ・和菓子のデザイン ・作品鑑賞	
	7月	○レオナルドとその時代 ・ルネサンスについて ・画家、作品について	
二 学 期	9月	○形と色の挑戦 ・モダンテクニック	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及して創造的に表す技能を身につける。 モダンテクニックならではの表現と創造的な工夫を考えるとともに、音楽で学んだことを生かして主題を生み出し豊かに発想し構想を練る力を育てる。
	10月	・音楽から発想を広げる ・作品鑑賞	
	11月	○印象派とその時代 ・印象派について ・ジャポニスムについて ・画家、作品について	今日につながる美術文化が発展した印象派が生まれた時代について学び、印象派やポスト印象派の巨匠の作品や生き方に触れるとともに、そのよさを味わう。
	12月		
三 学 期	1月	○透視図法 ・トリックアート	技法の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す力を育てる。
	2月		
	3月		

評価の方法と場面	知識・技能	授業の様子、作品、ワークシート、 筆記テスト、実技テスト
	思考・判断・表現	授業の様子、作品、アイデアスケッチ、 ワークシート、実技テスト
	主体的に学習に取り組む姿	授業の様子、振り返りシート

# 令和7年度 [ 3 ]年[ 美術 ]科 年間学習計画

鈴鹿市立白子中学校

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。		
観点別 目 標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む姿
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	4月	○オリエンテーション	美術を学習する意欲を育て、これからの学習内容や目的を理解する。 ・美術の学習目的を考える。 ・授業の取り組み方について理解を深める。
	5月	○水墨画	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及して創造的に表す技能を身につける。
	6月		水墨画ならではの表現と創造的な工夫を考えるとともに、支持体の形や特性に合わせて主題を生み出し豊かに発想し構想を練る力を育てる。
	7月	○富嶽三十六景 ・作品鑑賞 ・浮世絵について	代表的な日本美術である浮世絵について学び、富嶽三十六景をはじめ様々な浮世絵作品のよさを味わうとともに、西洋美術に与えた影響についても学ぶ。
二 学 期	9月	○今の自分、これからの自分	自分自身を深く見つめ、自分らしさや夢などから主題を生み出し、表現や材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する力を育てる。
	10月	・自画像	
	11月	・ボックスアート	
	12月	○ゲルニカ ・作品鑑賞 ・ピカソについて	ピカソの代表作であるゲルニカについて学び、ピカソの作品や表現に触れるとともに、そのよさを味わう。
三 学 期	1月	○七宝焼工芸	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及して創造的に表す技能を身につける。
	2月		七宝焼ならではの表現と創造的な工夫を考える力を育てる。
	3月		

評価の方法と場面	知識・技能	授業の様子、作品、ワークシート、筆記テスト、実技テスト
	思考・判断・表現	授業の様子、作品、アイデアスケッチ、ワークシート、実技テスト
	主体的に学習に取り組む姿	授業の様子、振り返りシート

学習のしかた
<p>《 授業中 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業に意欲的・積極的に取り組みましょう</li> <li>○各自の制作や授業に必要な資料や材料を準備し、制作に励めるようにしましょう。</li> <li>○作品の制作課題を理解し、資料や材料の収集を行い、アイデアスケッチや計画で構想を練りましょう。初発の発想のみでなく、制作の全過程で改善を加えながら、自分の目標や表現意図にあったものに仕上げていきましょう。</li> <li>○これまでに身につけた知識や技能を幅広く作品の制作にいかし、充実した表現ができるようにしていきましょう。</li> <li>○鑑賞では、ワークシートを使って自分の意見・感想を述べられるようにしたり発表できたりするようにしましょう。</li> <li>○自己評価シート等を使って授業への取り組みを振り返り、次の制作に活かせるようにしましょう。</li> <li>○他の教科で習ったことを美術の授業の制作や鑑賞に活かすことができるようにしましょう。</li> <li>○提出物は期日を守って必ず提出しましょう。</li> <li>○根気よく制作に集中し、私語は慎みましょう。</li> </ul>
<p>《 家庭学習 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○制作に必要な準備物を考えて用意しましょう。</li> <li>○宿題を忘れずにしましょう。</li> <li>○アイデアスケッチ等をためてアイデアの引きだしにストックしておきましょう。資料などが必要な場合は、インターネットや新聞、図書などを活用して調べ学習をしておきましょう。</li> <li>○芸術や美術に興味を持ち、美術館に足を運んだり、美術関連のTV番組などを見たりしておきましょう。</li> <li>○日頃より感性を磨き、観察力を磨いておきましょう。</li> </ul>
<p>《 テスト勉強 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業内容、ワークシート、教科書、資料集の復習をしておきましょう。</li> <li>○鑑賞のまとめや復習をしておきましょう。</li> <li>○与えられたテーマがある場合は練習しておきましょう。</li> </ul>